

アグリ筑西

2014 9月号



朝晩の風に秋の気配が感じられるようになりました。日中は暑さが続きます。お体にはお気をつけください。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター) 発行
Tel : 0296(24)9206
Fax : 0296(24)6979

第3回農業学園「病虫害防除と農薬の適正使用」開催！

7月18日と25日の2日間、第3回農業学園「病虫害防除と農薬の適正使用」を開催し、両日ともに18名の学園生が参加しました。

18日は「病虫害の診断と防除」と題して、農作物に病害の発生する原因や、病害の種類、防除のポイントについて講義を実施し、病虫害の防除には農薬だけに頼るのではなく、輪作や熱による消毒、ほ場衛生の管理など、総合的に病虫害を管理する必要があることを学びました。



25日は18日の応用編として、土壌病害の種類と太陽熱を用いた還元型土壌消毒の方法や、トマト黄化葉巻病を媒介するタバコナジラミの総合防除について学んだのち、農薬の登録内容や使用上の注意点について、ラベルを見ながら確認しました。

参加者からは「写真や実例で説明されて分かりやすかった」、「農薬以外の防除方法も実践したい」、「農薬の適正な使用を心がけたい」との声が聞かれました。

当部門では、今後も学園生の農業経営に役立つ講座を開催していきます。

水稲新品種「ふくまる」とイネ縞葉枯病対策研修会が開催されました！



7月29日、県西農林事務所主催で、水稲の茨城県新品種である「ふくまる」と、県西地域で発生が増加しているイネ縞葉枯病の対策研修会が開催されました。

研修会では現地ほ場の視察もおこなわれ、イネ縞葉枯病の対策には、媒介するヒメトビウンカを防除するための育苗箱施薬が有効であることや、24年度から「ふくまる」を10aあたり600kg収穫しているほ場では、ほ場主の方から「ふくまる」の生産のポイントについて学びました。

当日は生産者や関係機関あわせて70名ほどが出席し、新品種「ふくまる」への期待の高さと、イネ縞葉枯病に対する問題意識の高さを感じることができました。



現地ほ場で講習会を実施しました！

農業三土に新たに4名の方々が認定されました！



女性農業士認定者



筑西市
枝 静子 氏
施設野菜(レタス,
トマト)+多品目野菜

主力のトマトとレタスをJAに出荷し、ほかに多品目野菜を直売所で販売しています。経営では多品目野菜の部門を担当し、品質の向上に努めています。協和アグリミセスに所属し、女性農業者として積極的に活動しています。



桜川市
藤田 さおり 氏
施設野菜(キュウリ)
+水稲

抑制キュウリを主体とし、夏場は太陽熱消毒、堆肥の投入など土作りを実施すると共に、一部トマトとの輪作を行うなど安定生産に取り組んでいます。真壁ゆり根の会に所属し、女性農業者として積極的に活動しています。



青年農業士認定者



筑西市
野口 真一 氏
施設野菜(こだまスイカ
トマト, レタス)+水稲

JAのトマト、こだまスイカ部会に所属しています。施設の連作障害対策として、2年前からトマトの後作に冬採りのレタスを導入しています。下館4Hクラブに所属し、昨年度は冬採りレタスの有用性と品種比較のプロジェクトに取り組みました。



下妻市
石島 太郎 氏
果樹(ナシ)

早生～晩生品種をバランス良く組み合わせ、土壌診断や交信かく乱剤を利用した害虫防除など環境保全型農業を行っています。下妻市果樹組合連合会青年部に所属し、下妻の梨PRプロジェクトチームを立ち上げ、産地のPRに取り組んでいます。



また、女性農業士の塚田まさ枝氏、関口正子氏、堀江のり子氏、安達しづ江氏、須藤律子氏、青年農業士の山野利成氏、中里一秀氏、藤澤美佐子氏が退任されました。長い間お疲れさまでした！

営農掲示板！

多くの作物を食害するハスモンヨトウ・オオタバコガに注意！



ハスモンヨトウ
(老齢幼虫)

オオタバコガ
(老齢幼虫)

茨城県病害虫防除所では、フェロモントラップによる害虫発生予察を行っています。8月第1半旬現在、オオタバコガおよびハスモンヨトウとも、筑西市における誘殺数は平年よりやや多くなっています。



オオタバコガは幼虫の発生を確認したら、ハスモンヨトウは誘殺ピークの7～10日後が防除適期といわれています。ほ場での観察をこまめに行い、適切に防除を行いましょう。

(出典) 茨城県
病害虫防除所



畜産たい肥を積極的に活用しましょう！

畜産たい肥の効用として、たい肥に含まれる肥料成分がほ場に供給されるとともに、土壌団粒構造の形成が進み、通気性、透水性、養分の保持性などが改善され、地力の向上・保全が期待されます。たい肥の肥料成分は畜種によって異なり、牛ふんたい肥は速効的な肥料成分が少なく土作りに向き、豚・鶏ふんたい肥は速効性の肥料成分が多く肥料としての効果が期待できます。

畜産たい肥の利用にあたり、茨城県たい肥利用促進協議会でまとめた「たい肥生産者名簿」があります。またインターネットの「たい肥ナビ！」を利用して効率的にたい肥を利用した施肥設計ができます。ぜひ活用してください。(たい肥ナビ！Web版 <http://ibaraki-db.lin.gr.jp/taihi-navi/index.html>)